

研究・調査報告書

報告書番号	担当
10	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳) Heritabilities of Alcohol Use Disorders Identification Test (AUDIT) scores and alcohol biomarkers in Koreans: the KoGES (Korean Genome Epi Study) and Healthy Twin Study. アルコール使用による障害識別テスト (AUDIT) スコアとアルコールに関するバイオマーカーの遺伝率 : the KoGES (Korean Genome Epi Study) and Healthy Twin Study	
執筆者 Sung J, Lee K, Song YM.	
掲載誌 (番号又は発行年月日) Drug Alcohol Depend. 2011 Jan 15;113(2-3):104-9.	
キーワード アルコール使用による障害識別テスト (AUDIT)、バイオマーカー、韓国、遺伝環境要因	
要 旨 背景： アルコール使用による障害識別テスト (AUDIT)、アルコールのバイオマーカー双方はアルコール問題のスクリーニングに使用される。本研究の目的は、韓国人において AUDIT スコアとアルコールのバイオマーカーに遺伝および環境要因が寄与しているかと検討することである。 方法： 本研究は 1,678 人の現在アルコール飲酒者：818 組の韓国人の双子および 860 人の家族を対象とした。AUDIT 韓国版とアルコールに関するバイオマーカー(ガンマグルタミルトランスフェラーゼ：GGT、アラニンアミノトランスフェラーゼ：ALT、赤血球容積：MCV、トリグリセリド：TG) が検討された。解析は遺伝要因と共通の環境要因と推定するために、分散成分を用いて実施した。AUDIT スコアとバイオマーカーとの間の遺伝的、環境的相関に関する二変量分析は、年齢、性別、年齢と性別の相互作用、喫煙状態、アルコール摂取量、BMI、教育歴を調整して実施した。 結果： 遺伝可能性を示す AUDIT スコアはバイオマーカーについては 0.35、0.40、0.71 (P<0.001) であった。AUDIT スコアによるアルコール問題のリスクはバイオマーカーのレベルと男性では正の相関があった(GGT, MCV,TG)。一方女性では MCV のみ有意であった。AUDIT スコアとバイオマーカーの間の遺伝的、環境的な相関は男性では有意であったものの(GGT, MCV)、女性では有意ではなかった。 結論： AUDIT スコアとアルコールのバイオマーカーとの間に有意な遺伝的な寄与があった。AUDIT スコアとアルコールのバイオマーカーの間に有意な遺伝的、環境的関連があったので、今後の研究ではその関連に影響を与える共通の遺伝子と環境の影響と同定する必要がある。	